

# 海風通信

発行者 : 学校法人 SBC東京医療大学  
 学長 山之口 美喜生  
 〒279-8567 千葉県浦安市明海5丁目8番1号  
 TEL : 047(382)2111 (代表)

## SBC東京医療大学の新生へ

まずは「自律」を目指し、言葉を磨こう .....	2-4
学長	山之口 美喜生
「病ではなく「人」を診る — 医療におけるアートと「手当て」の精神」 ...	5
学生部長	武内 朗
大学の門をくぐったあなた達へ—これからの生き方を考えよう .....	6-7
健康科学部長・基礎教育センター長	檀 和夫
附属図書館で メディカルオンラインなど検索システム活用の奨め!! ...	8-9
附属図書館長	石丸 圭荘
「である」こと、そして「する」こと .....	10-11
理学療法学科長	盆子原 秀三
「新生児諸君へ」 .....	12-13
整復医療・トレーナー学科長	大澤裕行
未来を担う看護職への第一歩 —覚悟と志を胸に— .....	14-15
看護学科長	佐藤 みつ子
AI時代のレポート .....	16

電子版の図書館報、バックナンバーをご覧になりたい方は、右のQRコードからご利用ください。



## まずは「自律」を目指し、言葉を磨こう

学長 山之口美喜生

1年生のみなさん、入学して早くも2カ月が経とうとしています。そろそろ90分授業や大学生活にも慣れてきたでしょうか。医学の道の険しさも少し実感している頃でしょう。生活や行動・態度においても、もう高校生気分、まして中学生のような子供の振る舞いは許されませんよ。

2年生のみなさん、入学から1年が過ぎました。入学当時に抱いていた熱い思いと志は、まだその胸の中に灯っているでしょうか。国家試験まであと3年しかありません。気持ちにも中だるみが来る時期ですが、目的と目標を再確認して本道を外れぬよう励みましょう。

3年生のみなさん、専門科目が中心となり学びの難易度が上がりました。こんなに難しいとは思わなかったと学習の壁にぶつかる時です。2年後の国家試験も現実的な話になっています。息切れや迷いも生じますが、「諦めは怠け者の言い訳」です。希望に向かって努力を続けましょう。あらためて医療者になるという志を強く持ってください。

4年生のみなさん、いよいよ施設でのリアル実習や学内演習での仕上げの時期となりました。国家試験がすぐ目の前です。余裕はありません。今からの半年が勝負です。きっと、来年は誰かの命と健康に向き合っていることでしょう。もう一息です。

それぞれの目標達成のためにも、みなさんには「自律し自立した人」になってほしいと思います。

今年の入学式の学長式辞では「じりつ」を主とした話をしました。1年生でその時の内容を覚えている人はいますでしょうか。

自律は自分自身をコントロールして適切に行動する力を指し、自立は他人に頼らず自分で行動する力を意味します。  
だから、「人は自律し自立するという順番で成長していく」とされています。同じ「じりつ」と読むのに意味は少し異なります。

もっと詳しく言えば、自律とは、自らの価値観や信条に基づいて物事を判断できるということであり「決断力」と「強い責任感」を伴うのが特徴です。自立とは、身体的、精神的、経済的、社会的に他からの支配や援助を受けず、自分の力で生きることを意味します。

つまり、まだ学生であるみなさんに経済的自立や社会的自立を求めるのは難しくても、自律した精神的自立を目指すことはできます。そして、そうあってほしいと思います。それが医療者になるものとしての必要最小限の資質だからです。

成績がよくなりたい、明るい未来を手に入れたい。そう願うならまず「自律した自分」を目指しましょう。自律した者には、おぼろげにしる明確にしる自分自身の未来が見えています。そこから「目標」が生まれ、進む道、やるべきこと、やるべきでないことが見えて日常の行動や思考に反映されます。それを、自主性と言ったりもします。自律できていない人間に自主性は生まれえないし、求めても無駄ということになります。

実は、年齢も近く友達や仲間と思っている周りの人たちの「自律度」はあなたとは大きく異なっていると思ってください。それは大人と子供の差ほどあることもあります。自分の自律度と相手の自律度が違うと感じたときに「おとなじゃん」とか「こどもみたい」と流してしまいがちですが、その瞬間に無意識に自分自身の自律度と比較しているのです。

…といってもそれに気が付けるのは自律度の高い人だけです。

もっとあからさまに言えば、成績でいい結果を残せた人は「自律し」「努力した」人たちだけです。

小手先の要領だけで何科目はしのげても、医学系の全科目を要領だけでクリアすることは不可能です。またクリアしたからと言ってその理解と実力が保証されたわけではありません。取得単位には担当教員の温情が含まれているかもしれないからです。

「結果＝能力×努力」とよく言われますが、いわゆる能力と呼ばれる中には自分を律して目標に向かって努力するという自律度(精神的成長尺度)が含まれているのです。

能力＝頭の良し悪しではないのです。

賢さは生まれつきだけではありません。人は「より意識的」な努力の積み重ねや、意識的に良い環境に身を置くことで「より賢く」なれます。授業後、さあ終わったと遊びとバイトの話に戯れるか、静かに図書館に向かうのか、その行動の差が結果的に賢さの差となります。

その賢さを支えるモノ、それこそが「自律という精神力」なのです。

では、どうすれば「自律した人」になれるのか。

それは、目標を持ちそれを「言語化する」ことです。人の思考というのは「言葉」で紡がれています。〇〇を達成するためにはいつまでに何を今はどう時間を使うべきか、というのが意識の中で言語化されます。計画表やスケジュール表を使って視覚化し、文字や図表で再認識するという繰り返しでそれは更にアップデートされ続けます。それが「セルフコントロール」という自律の核心を強化することになるのです。大谷翔平選手は高校生のころからこのようにセルフコントロールしてきたといわれています。

言葉が貧困な人、イメージを言語化できない人はいつまでたっても賢くはなれなません。「自分の目標ややるべきことを言語化すること、それが自律し賢くなるための第一歩です。

そのためには普段から「思考や感情を適切な言葉で表現する」という意識を持つことが大事です。

例えば、いい印象も悪い感情も全部「ヤバイ」「めっちゃヤバイ」などの言葉で安易に済ませていては言語力はいつまで経っても上がりません。

言葉を使った情報の脳内処理能力が高まらないので精神的自律に至らず、いつまで経っても賢さは身に付きません。結果的に成績は向上せず、国試前に焦りと不安ばかりがつのります。

『言葉』には力があります。

賢くなるだけではありません、魂に響く『言葉』は力を与えてくれます。

みなさんを自律した賢い人に導き将来の自立に繋げる、苦難の時に心を支えてくれるのが言葉です。

言葉は、思考とコミュニケーションの重要なツールです。

特に日本語は非常に豊かな言語です。多彩な言葉のある環境下に身を置きましょう。

「ちは」「まじで」「ヤバイ」等々で事足りる人間関係よりも、丁寧語や尊敬語などの敬語を使う場面の含まれた人間関係に意識的に身を置くことを強く勧めます。その環境では、頭の中で常に言語選択や置換が行われ、無意識のうちに言語力が高まります。

そして、最強の方法は「読書」です。紙の本でもeBookでも構いません。

「活字」という言葉であふれた世界に飛び込む。読書は皆さんの言語力を高め鍛えてくれます。

内容のジャンルは問いません。まずは、本(活字)を読む習慣を身につけてください。

いい本と巡り会い、何かの言葉に心を打たれた時、それはきっとあなたが人生の宝物を手に入れた瞬間となります。

時には専門書を閉じて、お気に入りの一冊を見つける本の旅に出るのもいいでしょう。

その後に専門書を読むと、何かの新しい気づきがきっと得られます。

国家資格というその確かな裏付けで、真摯に誰かを救っている姿を、私は想像しています。

それは医療者として自立し、周りから尊敬のまなざしを集める「未来のあなた」です。



## 病ではなく「人」を診る — 医療におけるアートと「手当て」の精神



学生部長 武内 朗

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは、理学療法士、柔道整復師、看護師といえ、人の「生」と「質」に直接触れる厳しい世界に身を乗り出しました。既に4年間にわたる航海は始まっていますが、これは単に知識の修得期間ではありません。プロフェッショナルとしての「眼」と「手」、そして「心」を養うための、人生で最も濃密な学修の場にさせていただきたいと思います。

近代医学の父、ウィリアム・オスラー博士は、医療について「医学は不確実な科学であり、可能性のアートである」と語っています。これは教科書に記載されているのは「平均的な症例」であり、これから直接目にする「病める人」ではありません。病気や怪我を見るのではなく、「病気を持っている人間」を診ることが重要です。数値や画像データだけに頼らず、相手の言葉の端々に宿る不安や、わずかな表情の変化を読み取る「アート(技術・芸術)」を磨いて欲しいと考えています。

そのために重要な技術として「観察」があります。微細な変化に気づく力を養うことは、患者さんとの信頼関係を構築する第一歩となります。

また日本の伝統的な医療や身体技法に「手当て」という言葉があります。看護師の「看」の語源は、「手」と「目」を組み合わせたもので、「見守る」の意味が含まれています。理学療法士や柔道整復師、看護師において、皆さんの「手」は最大の治療器具になります。触れることは、単に身体に働きかけるだけではありません。ともに手を取り合っていきましょうというメッセージでもあります。

医学の父・医聖と称される古代ギリシャの医師ヒポクラテスは「人生は短く、術(わざ)の道は長い」と言い遺しました。医療の学びは、時に果てしなく、自分の無力さが身に染みることがあるかもしれませんが、しかし皆さんが歩む道は、決して孤独なものではありません。共に切磋琢磨する友人、支えてくれる教職員、そして将来皆さんの助けを待っている患者さんたちがいます。本学で大いに悩み、大いに学び、最高の仲間と出会ってください。皆さんの成長を、心から期待します。



「医学するところ」  
日野原重明【著】  
岩波書店  
【請求番号:490/Hi】



「まんが 医学の歴史」  
茨木 保【著】  
医学書院  
【請求番号:490.2/Ib】

## 大学の門をくぐったあなた達へ —これからの生き方を考えよう

健康科学部長・基礎教育センター長 檀 和夫

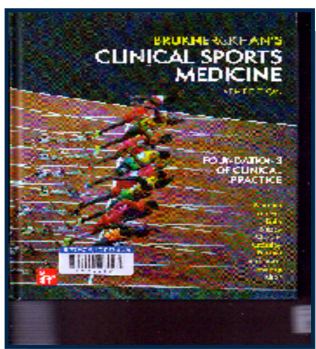
2026年4月、あなた達はSBC東京医療大学という医療系大学へ入学しました。医療系大学への入学に際してはあなたの中にどのくらいの決心がありましたか？考えに考え抜いて「自分の将来のやりがいはこれだ！」と決めましたか？それとも親や先生の勧めや懇願の前に「そんなに言うならそれもいいか」というような感じでしたか？あるいは「先が見通せない不安な時代には資格を得て手に職をつけておいた方が得策では？」という理由でしたか？私はどれでも良いと思います。人間は、子孫を残すという本能のままに生き、それ故生き方にまったくぶれの無い「動物という生き物」とは違って「心」「感情」「思想」「価値観」などを持った大変複雑でやっかいな生き物です。そのやっかいさ故に時の移ろいと共に「気持ち」や「考え方」が変わっていくことがしばしばみられます、いやそれが普通かもしれません。だからといって「医療人」を目指すという目標を簡単に変えてもいいですよ、と言っているのではなく自分の一生の生き方を真剣にもう一度考えた上で医療人というこれ以上なくやりがいのある、しかも面白い生き方を目指して欲しいのです。

あなた達は生まれてこの方、幼稚園、小学校、中学校、高校と14年間ぐらいずっと先生に多くのことを教えられ様々な知識ややり方を覚えて成長してきました。今までは子供だったので教えられるがままに「受け身」的に知識や技術を身につければそれで良かったのですが、でもこれからは自分で目的を持って生きていくために、自分の専門職に必要な知識と技術を「能動的」に獲得していく必要があります。自ら勉強せずに必要な知識・技能が不足している人は専門職になる資格なしとして卒業させてもらえないだけです。ついでに言うところの卒業させても良いと大学が認定する条件のことを学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)といい全ての大学が決めています(あなた達のほとんどがディプロマ・ポリシーをまだ知らないと思います。改めて見て頭に入れておいてください)。



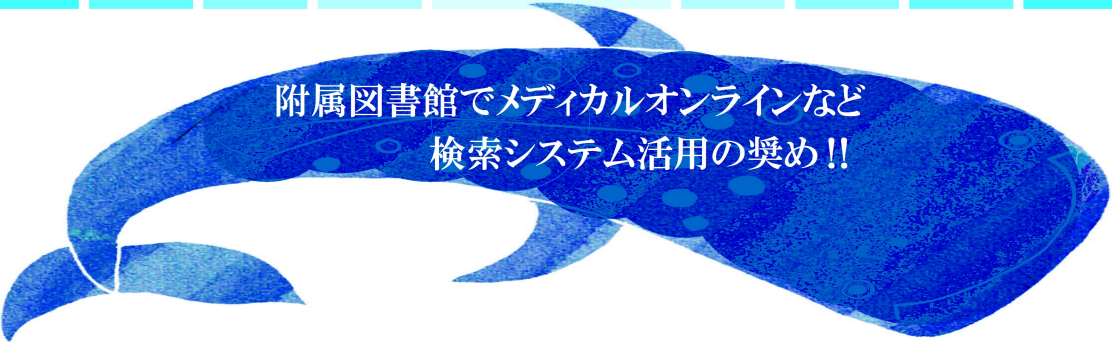
つまり大学は必要なことは教えますが、それを努力して学習し身につけるか否かは学生の自由であり、学生次第です。このことをしっかりと覚えておいてください。大学に入ったら教員が手取り足取り資格を得させてくれるわけではありません。そしてあなたが卒業するために身につけなければならない条件は実は専門職として必要な知識・技能だけではなく、その前に一人の人間としてしっかりとした人間力、つまり他人を尊重できる力、他人の気持ちを考えられる力、広い趣味、十分な教養なども身につけなければなりません。医療人が相対するのは患者さんという他人であり、この患者さんたちと気持ちよくコミュニケーションできなければ医療人は患者さんから信頼されず、つまり医療人としては失格の烙印を押されてしまうこととなります。どんな患者さんともコミュニケーションするためにはこの人間力が必須なのです。このことも考えて自分の視野を広く大きくすること、つまりマスメディアでのニュース・情報を常に取り入れて日本、世界で起こっていることに目を向けること、多くの本を読んで人間力を養うことを常に意識してください。SNS、特に動画系SNSは完全に興味本位で作られており、それ故にウソ、デマ、偽情報で溢れており、これらのみから情報を得ていると人間力は身につかず患者さんたちとのコミュニケーションは取れなくなることを理解しておいてください。

大学生活の間に大きく成長して立派な医療人として社会に出ていけることを心から願っています。



BRUKNER & KHAN's Clinical Medicine  
「臨床スポーツ医学：臨床実践の基礎、第6版」  
Peter Brukner (著) Karim Khan (著)  
マグロウヒル/オーストラリア  
【請求番号：780.19/Br】

理学療法と筋骨格系医学の実践的なガイド。  
学生や臨床の初心者を対象とした手引書。



## 附属図書館でメディカルオンラインなど 検索システム活用の奨め!!

附属図書館長 石丸 圭荘

ご入学おめでとうございます。

大学は教育機関としての役割だけではなく研究機関としても重要な役割があります。

それは、最新の「研究」により解明されたエビデンスを「教育」にフィードバックするという役割です。

大学附属図書館では、研究・教育成果の集積と発信(機関リポジトリ:本学附属図書館 HP 参照)を担っています。特に医療系大学では研究面では Evidence Based Medicine:EBM(根拠に基づく医療)を背景とする「研究」と「教育」をはじめクリニックでの診療「臨床」として臨床実習などが実践されています。このように「研究・教育・臨床」は融合しており、EBMに基づいた文献検索としてメディカルオンラインなどのデータベースを基に検索システムが構築されて活用されています。これらのデータベースを基に診療指針(診療ガイドライン)などが発刊されています。

また、卒業論文の執筆やレポート作成において Artificial Intelligence:AI に頼るのではなくEBMに裏付けられた著書や論文の情報検索システムを活用することが欠かせません。これらの情報はデータベース化されているメディカルオンラインなどで国内外の文献情報を効果的に検索して、卒業論文やレポート作成に活用することができます。

近年 AI の普及はめざましく、医療現場にも AI による診療支援や診断支援システムなどが導入されています。一方で、不適切な AI の活用や誤ったインターネット検索は不確かな情報となり、これらの情報を個人で容易に発信でき、その情報は広く検索され拡散されるため、AI で作成した卒業論文や学位(修士・博士)論文に盗用や著作権の侵害など重大な問題が発生しています。このため適切に検索システムを活用して EBM を基にした卒業論文やレポートを作成することが求められます。

附属図書館では、書籍などを静かに読む場だけではなく、図書館 HP から QR コードでもアクセスできる Online Public Access Catalog:OPACを活用して、附属図書館に蔵書されている書籍、雑誌や視聴覚資料などの検索システム他、データベースを活用した卒業論文制作をはじめレポートや発表資料を作成することができます。これらの活用を支援するため、初年次教育(附属図書館利用法)をはじめ図書館セミナーを開催してデータベースの検索などをわかりやすく解説していますので、効果的に活用してください。

### 図書館セミナー 申し込みフォーム

※以下の資料の利用方法を始め、データベースの検索方法が学べます。気軽にお申込みください。

URL : <https://forms.gle/2JUXNVu2F6V5D6fE7>



大学図書館の電子資料も是非活用してください。電子資料もOPACで探せます。利用方法は図書館まで。

URL : <https://sbctmu.opac.ip/opac/top>



Datebaseメディカルオンラインは、図書館のPCから登録することで、実習先でも活用できます。<参考>リモートでの利用方法はこちらからご覧になれます。

URL : <https://x.gd/OfTAV>



電子図書KonoDenの電子資料も是非活用してください。図書館のPCから登録することで、実習先でも活用できます。<参考>リモートでの利用方法はこちらからご覧になれます。

URL : <https://x.gd/9hp3W>



## 「である」こと、そして「する」こと

理学療法学科長 盆子原 秀三

みなさん、ご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

少し独語の文法のようなタイトルですが、これは私が大学院を卒業した際、故開原成允先生(元国際医療福祉大学大学院院長)が祝辞で語られた言葉です。私にとって今も行動指針となり続けている考え方であり、新たな一歩を踏み出す皆さんにもお伝えしたいと思います。

「である」とは、皆さんが“学生である”という社会的な立場を示します。社会の中では、その立場に応じた振る舞いや役割が求められ、それによってコミュニケーションが形づくられていきます。徳川時代の社会構成を例にすると分かりやすいでしょう。出生や家柄、年齢といった、行動では変えられない属性が人間関係や価値判断の基準となっていました。このような社会では、何かを「する」よりも、何で「ある」かが重視されていたのです。

一方で「する」とは、目的をもって行動し、その目的のために関係性が結ばれていくことを指します。会社や組合、教育機関といった機能的な組織は、本来この「すること」の原理に基づいています。そこでは「である」こと自体が称賛されるのではなく、行動や成果こそが価値判断の基準となります。

皆さんにとって学生「である」ことは、学生としての社会的責任を担うという意味を持ちます。そして学生として「する」こととは、学び続け、国家資格を得るために努力を積み重ねることです。4年後、国家資格を得て専門職「である」立場になったとき、そこには新たな社会的責任が生まれます。そのうえで「する」こととは、学び続け、人を助け、社会に貢献し続ける姿勢を指します。

では「である」から「する」というモードに切り替えるにはどうしたらよいか？

それは、自己の運命を支配しているのは自分自身であると感じることであり、自分の行動の原因を自分自身の中に感じることです。つまり将棋のたとえで言えば、「コマ」より

「指し手」感覚でいることです。ド・シャーム博士は、内側から出るモチベーション(内発的動機づけ)の大切さを述べています。「やらされている」「言われたことをやればいい」という「コマ」感覚は、教員からの指示を待つだけだったり、教員の指示もしっかり理解することができなかつたりしてなかなか成長できません。学びにはあくまでも「指し手」感覚が必要なのです。

学びは、人生の地図を書き換える力を持っています。その地図を誰が描くのか。それは、ほかの誰でもない、皆さん自身です。我々教員は、その地図がより豊かで確かなものになるよう、伴走者として力を尽くします。

どうか、自らの手で一手を選び続ける「指し手」として歩んでください。

#### 《参考推薦図書》

##### ※ 日本の思想

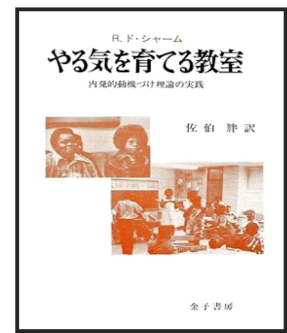
(岩波新書 青版 434) 丸山 真男(著)

##### ※ やる気を育てる教室—内発的動機づけ理論の実践(1980年)— (金子書房) R.ド・シャーム(著), 佐伯 胖(翻訳)

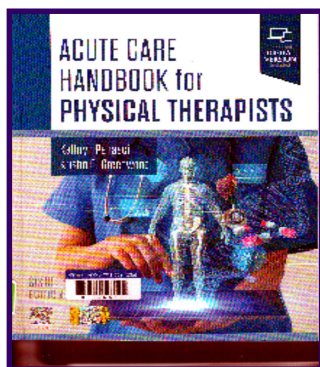


「日本の思想」丸山真男【著】  
岩波新書, 1961.11  
【121/Ma】

「やる気を育てる教室：  
内発的動機づけ理論の実践」  
R.ド・シャーム【著】 金子書房, 1980.11  
《浦安市立図書館 所蔵》



#### 理学新刊



「Acute Care Handbook for Physical Therapists」  
理学療法士のための急性期ケアハンドブック 第6版  
著者: Kathryn・Panasci(理学療法士、DPT)  
Elsevier  
【請求番号:492.5/Pa】

急性期医療現場で患者を効果的に治療・管理するための基本情報が修得できます。

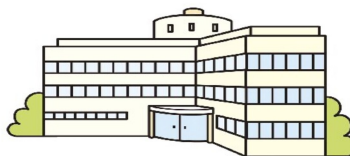
## 「新入生諸君へ」

整復医療・トレーナー学科長 大澤裕行

今年度、晴れてSBC東京医療大学へのご入学を勝ち取られた新入生諸君、本当におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

さて、これで先ず、人生の最初のハードルを越えられた訳ですが、正直なところ、これからが大変な荊(いばら)の道の始まりです。高校までの学習とは異なり、大学では、社会人となるための教養教育と、その道のスペシャリスト養成のための専門教育の両方を学ばねばなりません。そのカリキュラムは膨大で、またその内容も高度且つ難解です。高校までの画一的な勉強とは違い、肚を据えてかからねば攻略できません。どうか4年間最後まで、へこたれず、折れることなく卒業まで果敢に挑戦してもらいたいと心から願っています。

さて、大学在学時、もう一つの大切なことがあります。入学前のオープンキャンパス時から私が力説してきた、「Life is about encounter and choice! 人生は邂逅(出会い)と選択!」に尽きるということです。もうすでに耳タコの学生も居ることと思われませんが、突き詰めるところ、人生はずっとこの連続です。今後、君達が歩むであろう長い道のりの中で、「人は一生のうち逢うべき人には必ず逢え、しかも一瞬早すぎず、一瞬遅すぎない時に。」という格言通りに出会いは生まれます。無論、当の本人がボーッとてその出会いに気付かないことも、またその機会を求めていないと見逃して大損をしてしまうことも、多々あると思われます。人生に於ける終生の親友に会えるのも、またその職業と人生の師に出会えるのも、ここからです。勿論、こちらが目を皿のように、そして聞き耳を立てて待ち望んでないと、見過ごしてしまいます。その道の先達であれ、指導者や達人であ



れ、当代一流といわれる人は、決して煌びやかなわけでもなくまた際立って目立つ存在でもなく、貴方の周りにそっと静かに佇んでいることでしょう。もし貴方が、心から心酔でき敬意を持てる素晴らしい友人や人物、あるいは「師」と気付き出会えたならば、すぐに親交を深めるのが得策です。そうすることで、その出会い邂逅が人脈となり、多くの人と繋がり、ひいてはその縁が、必ずや貴方の豊かな人生を育み彩るようになることでしょう。引っ込み思案で自分の殻に閉じこもっては何も生まれません。何度でも言います。「Life is about encounter and choice! 人生は邂逅(であい)と選択!」なのです。

縁あって、多くの大学の中からこのSBC東京医療大学への入学を決められた新入生諸君が、日々精一杯、精進努力され、多くの出会いを活かし自らの将来に向け、突き進んでいかれることを祈りつつ見守って参りたいと思っています。



Life is about encounter and choice!

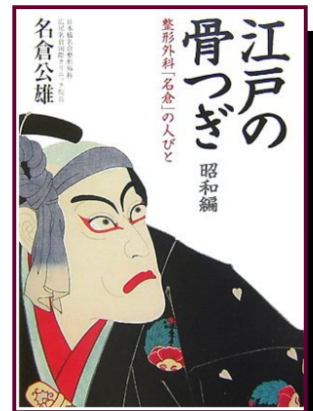


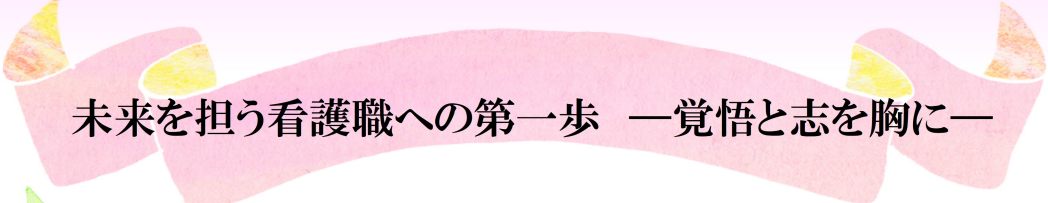
「江戸の骨つき」  
名倉弓雄【著】  
毎日新聞社  
【請求番号:288.3/Na】

「江戸の骨つき」は、現代の柔道整復師、整形外科のルーツ。江戸時代中期から接骨技術を継承する人々の話。



「名倉の骨つき」7代目の筆者が、昭和の医療に融合していく中で柔道整復術の伝統を語る。

「江戸の骨つき 昭和編」  
名倉公雄【著】  
中央公論事業出版  
【請求番号:288.3/Na】





## 未来を担う看護職への第一歩 ―覚悟と志を胸に―



看護学科長 佐藤みつ子

桜の花が美しく咲き誇り、新たな門出と新しい歩みを祝うにふさわしい佳き日となりました。SBC東京医療大学看護学科に入学された96名の新入生の皆様、誠におめでとうございます。皆様を教職員一同、そして在学生一同、心から歓迎いたします。

そして在学生の皆さん、ご進級おめでとうございます。これまでの努力に敬意を表するとともに、新たな学年におけるさらなる成長を期待しております。

新入生の皆様は今、大きな希望を胸に抱く一方で、不安や緊張も感じておられることでしょう。しかし、その緊張は、自らの未来に真剣に向き合おうとする誠実な心の現れです。どうかその気持ちを大切にしてください。

一方、在学生の皆さんは、これまでの学びや経験を通して、それぞれに看護の意味ややりがいを感じ始めていることでしょう。これからは、その学びをさらに深め、後輩の良き模範としての役割も担っていくことになります。

さて、わが国は人口減少と超高齢社会の進行という大きな課題に直面しております。人々の生命と生活、そして尊厳を支える看護の役割は、これまで以上に重要となっています。看護職の活躍の場は、病院のみならず、地域、在宅、予防医療や健康支援へと拡がり、社会のあらゆる場面で求められています。さらに、医療技術の進歩やICTの発展により、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。これからの看護職には、高度な専門知識と確かな技術に加え、人間を深く理解する豊かな感性と倫理観が求められます。

本学看護学科では、このような時代の要請に応えるべく、感性豊かな人間性と高い倫理観を備えた専門職業人の育成を目指しています。皆さんには、確かな知識と技術を身につけ、将来、医療や地域社会を支える存在へと成長してほしいと願っています。

新入生の皆様にとって、これから始まる大学生活は、基礎から応用へと段階的に学びを深めていくかけがいのない大切な時間です。在学生の皆さんにとっては、その学びをさらに発展させ、実践力へと高めていく重要な時期となります。

ここで、新入生・在学生の皆さんに共通して心に留めていただきたいことを三つ申し上げます。

第一に、「覚悟と志」を持つことです。

看護は、人の生命と尊厳を支える崇高な専門職です。自らがどのような看護職を目指すのか、その理想を明確に心に描き、その実現に向けて、たゆまぬ努力を重ねてください。

第二に、「主体的に学ぶ姿勢」を大切にすることです。

大学での学びは、自ら切り拓くものです。仲間と支え合いながら、積極的に学び、考え、行動することで、確かな力が身についていきます。

第三に、「健康を大切にすること」です。

健康はすべての基盤です。将来、人々の健康を支える専門職となる皆さん自身が、自らの健康を大切にしてください。

最後に申し上げます。

看護とは、単に医療技術を提供する仕事ではありません。人の「いのち」に向き合い、人の「くらし」に寄り添い、「尊厳」を守る、かけがえのない専門職です。これからの学びの一つひとつが、やがて人々の命を支え、人生に希望の光を灯す力となります。

新入生の皆様が本学で大きく成長されること、そして在学生の皆さんがさらに飛躍し、社会に信頼される看護職へと歩みを進められることを、心より願っております。

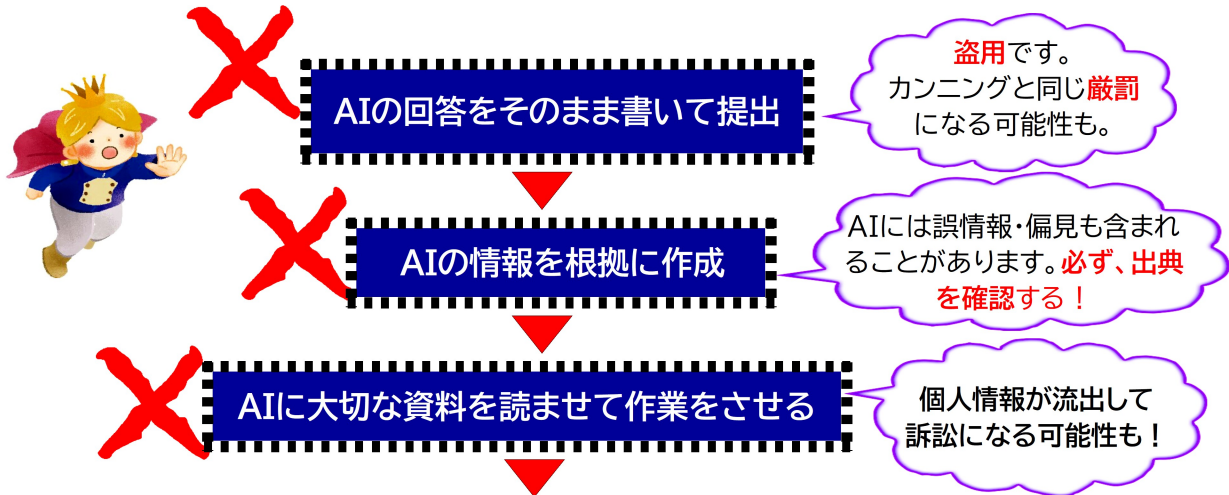
皆様の前途が光り輝くものであることを祈念し、メッセージいたします。





決してやってはいけません!

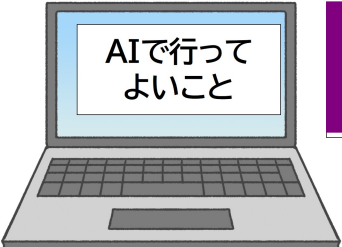
# 要注意 レポート作成 こんなAIの利用はNG!



AI時代だからこそ、信頼できる本や文献での確認が必須です!

**SBC東京医療大学生**

あなた方は人の命や健康に携わる医療従事者となる人たちです。正しく安全な情報を利用しましょう。



AIで行ってよいこと

友人と議論して発想を得たり考えをまとめたりする代わりにAIと話す。先輩や先生に質問したり、訂正してもらったりする役割をAIにもらう。

本で培った感性や発想をもつ人こそ、AI時代に求められる人材です。皆さん、今こそ、本を読み、活用してください。!

電子データは操作しやすい媒体です。悪意のある偽情報をわざとAIに学習させて、不正な情報操作を行う犯罪もすでに出ています。本は、執筆責任者が明示され、情報の書き換えはできません。AIに浸食されない本の活用が必要です。

**AIの時代だからこそ、本の出番!**